

## 成果検証報告書

### 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	富士見市					
提案事業名	地域でつくる支え愛コミュニティ事業					
事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 町会や地域の活動への参加					
	(成果検証の具体的な方法) 市民意識調査と同様の比率で水谷東地域にアンケートを実施					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B <b>◎</b>
	従前値 (H27年8月時点)	44.5% (市民意識調査)	目標値 (R3年7月時点)	50%	実績値 (R3年7月時点)	31.70%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	6000 1055	稼働率 (%)	(目標) (実績)	50% 17%
住民への公表状況 及び特記事項		市広報紙、ホームページ等を通じて公表を行う。				

### 【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 支え愛コミュニティ事業	△	子どものための拠点として、多様なニーズに対応できる利便性の高い施設を整備できた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が自粛を余儀なくされており、稼働率は低くなっている。
② 子ども支え愛のコミュニティ事業	△	地域住民の取組みにより、未来の担い手として期待される子どもの居場所づくりとして、勉強会や食事会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように実施できなかった。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

### 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	
実施事業について 成果が不十分である点	勉強会や食事会など様々な活動が予定されていたが、実際には新型コロナウイルス感染症の影響により、活動することができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	新型コロナウイルス感染症に起因する活動の制限や自粛により、成果指標での評価は難しいが、新型コロナウイルス関係による利用制限がなくなった際は、事業目的を達成するために、町会等を中心に子ども関連の事業に力を入れていく。